

社内木鶏感想用紙

2025 年 4 月 28 日

4 月号

名前

タイトル: 勝運を掴む

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

今回の特集を読み運をつかむには共通項があるように感じる。

感謝の心を持つ、すべてをあるがままに受け入れる。その場でできることに精一杯取り組む。

全て大切だしそれが全て完璧に出来たらいいと思うが、当たり前だけどなかなかできないのが実情であり苦勞する部分だと思います。

自分自身に置き換えて考えても全て出来ているとは思わないですが、

出来事すべてをあるがままに受け入れる事はなかなか出来ないような気がします。

時にはなんでだろうと思う事もあるし、できていたのではないかなと思うこともあります。

運を掴むためには全ての行動が左右するし、失敗をしたままネガティブに行動をすると成功をしたとしてもそれが成功だと思ふことすら気が付かないように感じました。

そこが成功をした人と成功していない人の差じゃないかと思ひます。

誰でも失敗するし、チャンス(運)は誰にでも訪れるのでチャンスを掴んで成功したいと思ひました。

この事は子ども達にもなぜ失敗しても良いのか？

失敗のその先を大切に教え成功に結び付けれるように伝えて行きたいと思ひました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2025 年 4 月 28 日

4 月号

名前

タイトル: 特集 人間における運の研究

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

今回は運について、様々な方の考え方を読ませていただきました。私が初めて聞いてとても興味を持った言葉は、幸田露伴の『努力論』の中の幸福三説です。福を惜しむ「惜福」、福を分ける「分福」、福を植える「植福」が三説になっているそうです。私は特に分福と植福という言葉に感銘を受けました。福は自分だけではなく人に分け与える。また例えば子孫の将来何か役立つために、木という福を植えておくという意味だそうです。何事も良いことを独り占めにすることは間違っているという事を改めて感じました。次は以前の復習になったのですが、松下幸之助さんと稲森和夫さんが同じような考えを持っていらっしゃることを復習しました。与えられた運命を、恨まず妬まず憂いず現状を受け入れ、ひたすら前向きに努力を続けて得を積むことが大事だという事です。人間は常に謙虚さを忘れてはいけないと強く思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2025 年 4 月 28 日

4 月号

名前

タイトル: 人間における運の研究

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

今回の致知の特集は、「人間における運の研究」ですが、改めて“運”というものが、単なる偶然ではなく、人間の生き方や考え方と深く関わっており、自身の姿勢や心の在り方によって引き寄せられるものであるということを感じました。

記事の中に特に印象に残った言葉は、松下幸之助さんの言葉で、運をよくするためには「徳を積むこと」だということ。徳を積むためには、周りへの思いやりや感謝の気持ちなど日常生活での小さな積み重ねによって築かれ、前向きな姿勢で生きていくことが必要だと思います。決して簡単ではなく難しい姿勢ですが、不運を感じる時、後ろ向きな考えではなく「不運の中にこそ学びがある」という視点を忘れず、失敗や苦難を通じて人は成長するという考えのもと、運命を受け入れ与えられた環境の中で最善を尽くすことが、最終的に結果として運を引き寄せることに繋がるのだと思います。今回の致知では、“運”について考え学びましたが、運は偶然ではなく自身の心の持ち方、日々の行動が“運”を左右すること。そのことを念頭に置き、これからの人生、前向きな姿勢で謙虚と感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって努力を積み重ねていきたいと思っています。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2025 年 4 月 28 日

4 月号

名前

タイトル:

勝運を掴む

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

全員で同じ方向を向いて前進するために岡田さんが掲げたフィロソフィーは組織の基本形だなと感じました。

仕事に当てはめてみるとenjoy は仕事ができる喜びour teamは愛社精神doyourbest は手を抜かず全力で仕事

をするconsentration目の前の事を一生懸命やるinprove は問題意識を持つcommunicationは話し合いながら

色んな事を進めていくに置き換えてみました。これを各個人ができた時に最高のチームが出来るのだと感じました。

これを踏まえてHPの我が社の社訓を見てみると私の頭にしっかり入っていない事に気づきました。

まずは、しっかり頭に入れておこうと思います。心に残った言葉は、人は皆違う事を認め合い落とし所を探っていく事

が大事で共通の目的の為に認め合う事でそれがいずれ一体化する。そんな会社組織を目指す事が大切だなと

感じました。岡田さんが学園長をしている高校で先生から生徒に対しての声掛けの約束3つ。どうしたの？

君はどうしたい？私に手伝えることはある？答えを用意するのではなく子供の意見を聞く、耳を傾けるこの言葉は

どこでも通用する覚えておきたい言葉だなと思いました。そして、1日の最後に良かった事を頭に浮かべ、

ありがとうと感謝の念を抱いて眠りにつくと睡眠の質が上がるし運を掴めるとあるのでこれは即実行してみよう

と思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いた事